

平成23事業年度

決算報告書

自：平成23年4月 1日

至：平成24年3月31日

国立大学法人新潟大学

平成23年度 決算報告書

国立大学法人 新潟大学
(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	17,548	18,324	775	(注1)
うち補正予算による追加	39	39	-	
施設整備費補助金	894	983	89	(注2)
補助金等収入	767	1,107	339	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	73	73	-	
自己収入	28,952	29,915	962	
授業料，入学金及び検定料収入	7,146	7,140	△6	(注4)
附属病院収入	21,394	22,186	791	(注5)
財産処分収入	5	-	△5	(注6)
雑収入	406	588	182	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,482	5,578	3,096	
産学連携等研究収入	1,561	1,951	390	(注8)
寄附金収入	921	3,627	2,705	(注9)
長期借入金収入	3,105	3,105	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	53,824	59,087	5,263	
支出				
業務費	43,912	43,286	△625	
教育研究経費	23,772	22,344	△1,427	(注10)
診療経費	20,139	20,941	802	(注11)
施設整備費	4,073	4,007	△65	(注12)
うち施設災害復旧事業	25	25	-	
補助金等	767	881	113	(注13)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,485	2,611	125	
産学連携等研究費	1,564	1,826	262	(注14)
寄附金事業費	921	784	△136	(注15)
貸付金	-	1	1	(注16)
長期借入金償還金	2,584	2,551	△32	(注17)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	2	-	△2	(注18)
計	53,824	53,339	△485	
収入－支出	-	5,748	5,748	

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金収入については、平成22年度における退職手当など、前年度からの繰越額を決算額に計上しているため、予算額に比して決算額が775百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、新規事業の獲得により、予算額に比して決算額が89百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、新規事業の獲得に努めたことにより、予算額に比して決算額が339百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料免除を拡充したこと等により、予算額に比して決算額が6百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、診療報酬の改定や患者数の増加に努めたこと等により、予算額に比して決算額が791百万円多額となっています。
- (注6) 財産処分収入については、好山寮跡地の売却を計画していましたが、購入希望者がいなかったことによるものです。
- (注7) 雑収入については、損害保険金受入、駐車場収入の増加等により、予算額に比して決算額が182百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入については、産官学連携推進に努めたこと及び前年度からの繰り越し額を決算額に計上しているため、予算額に比して決算額が390百万円多額となっています。
- (注9) 寄附金収入については、産官学連携推進に努めたこと及び前年度からの繰り越し額を決算額に計上しているため、予算額に比して決算額が2,705百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、一部の学内プロジェクト事業等を翌年度以降に実施することとし、支出が減少したため、予算額に比して決算額が1,427百万円少額となっています。
- (注11) 診療経費については、高度先進医療の提供に資するための設備整備等による費用の増加により、予算額に比して決算額が802百万円多額となっています。
- (注12) 施設整備費については、事業計画を変更し、翌年度に事業を実施することとしたこと等により、予算額に比して決算額が65百万円少額となっています。
- (注13) 注3に示した理由により、予算額に比して決算額が113百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究費については、予算額に比して支出が増加したため、決算額が262百万円多額となっています。
- (注15) 寄附金事業費については、予算額に比して支出が減少したため、決算額が136百万円少額となっています。
- (注16) 貸付金については、学生への貸与が見込みを上回ったことにより、予算額に比して決算額が1百万円多額となっています。
- (注17) 長期借入金償還金については、利率が予算積算上と異なることによって生じる差額等により、予算額に比して決算額が32百万円少額となっています。
- (注18) 国立大学財務・経営センター施設費納付金については、財産処分による収入の一部を納付する予定としていましたが、注6に示した理由により、財産処分が行われなかったものです。